

つながる本の物語

17歳新聞

2014 7月

[第14号]

編集新聞局員

責任者

第14号編集長 池田 くるみ

顧問教諭代表 植木 淳

編集者

高橋 麻莉 宇佐美 舞

葛西 愛理 韋 美綺

大丸 音々 小倉 幸恵

谷口 志帆

取材協力

北海道ブックシェアリング



▲「キョロキョロとして生きる」という荒井さん。自分が書いた文章を楽しんで読んでもらいたいため、いろいろな情報を集めている。

プロにおハナシ聞いてみます！
おしえて
シゴト人



北海道ブックシェアリング
代表 荒井 宏明さん

1963年生まれ、北見市出身。高校2年生の娘を持つ子育て熱心な父親。大の太宰治ファンであり、バンドマンやロンドン留学、新聞記者の経験を持つ。2012年9月、道内の学生と一緒に岩手県陸前高田市にログハウスを建て仮設図書館を寄贈。現在はヤップ州立図書館の支援活動にも力を入れながら、北海道と東北の読書人をつなぐ情報誌「ブックシェアリング」を発行する。札幌大谷大学社会学部非常勤講師も務めている。

読めば豊かに

北海道の子どもの読書意欲は全国平均以上であるが、学校図書館にある本は古い図鑑や傷んだ本が多い。小さい頃から『本の虫』で活字中毒だったというほど本好きの荒井さんは、そんな読書環境を立て直そうと、2008年に「北海道ブックシェアリング」を立ち上げた。おもな活動は寄贈された本を整理し、必要な図書館や施設に贈っている。

ある日、新品の絵本がたくさん贈られた。生まれた子が2歳になったら一緒に読もうと母親が買った絵本。だが、その子は亡くなってしまい、願いは叶わなかった。「古本屋で売るよりも、誰かに渡したい」。今もこの言葉が心に残っているという。寄贈された本の行き先や提供元を伝えることはない。角膜炎の「アイバンク」と同じだ。「本で豊かな時間を過ごしてもらえることがうれしい」と活動の喜びを語ってくれた。本を通してたくさんの人に会い、本で心がつながっていく素敵な活動である。



▲荒井さんの職場は、ぬくもりがたっぷりの空間。

一歩一歩が大切

震災後の5月に宮城県を訪れ、目の前に広がる壮絶な景色と焼けたい街のにおいに声も出なかった。今年5月には福島県浪江町の立入制限区域に入り、手のつけられない街の様子に「自分の無力さ」を痛感した。「一歩一歩、真正面から進めていくこと。これが一番の近道」と被災地に思いを寄せ、もう「支援」ではなく「一緒に先へ進む」という気持ちで月に一度、東北で活動している。

ボランティア活動をする学生に、「相手に名前まで覚えてもらえるように」と指導する。人の言葉は量ではなく、どれだけ思いが入っているかが大事であることを教わった。



▲絵本の表紙でつくる手提げ袋。学生が作り方を教えている。

聞く、読む、出会う

高校時代はとにかく早く「大人」として働きたい気持ちが強かった。大学生ではアルバイトの給料で日本一周、25歳のときにはロンドンで取材を重ねた。見える景色は変化していた。

「今の高校生は頑張っている。挑戦する行動力がある」と感心しながら、「高校生のうちにプロの話聞き、何でも吸収しようとするのが大切」とアドバイスくれた。また、「いろいろな本を柔軟に読んでみるとよい」と、高校生に読んでほしい作家として伊坂幸太郎さんと内田樹（たつる）さんを勧めてくれた。

太宰治は「飛んでいる蝶を追って、そとつかまえるように言葉を選ぼう」という。私たちが日本語の言葉の美しさを感じ、本を読める時間と環境があることに感謝しながら、本との出会いを楽しみたい。

がんばる部員に聞いてみよう！ ブイェンタビューー！



Yuriko Ito
伊藤 佑里子

卓球部3年生、キャプテン。5月に行われたタイジュニアオープン大会に出場し、団体優勝、ダブルス2位、シングルス3位と3つのメダルを獲得。中学から大谷卓球部に所属し、速攻を得意とする。

スイッチの切り替え

父に誘われ小4から卓球を始めた伊藤さんは、キャプテンとして部員が同じ目標に一丸となって向かえるように気を配っている。今の目標は、8月のインターハイで「金メダル」をとることだ。大谷の卓球部は「ONとOFFがはっきりしている楽しいチーム」という。

代表としての責任

国際大会では日本代表としての責任の重さに緊張した。「大丈夫」と自分に言い聞かせ、深呼吸をしながら緊張をほぐした。伊藤さんをはじめ、2名の部員が10月の長崎国体に出場するなど、活躍の場を増やしている。

友だちの存在

元気の源は「友だち」。ちよつと落ち込んでも、「友だち」といって忘れられる」という。ユーモアも交えながら笑顔で話す伊藤さんに、強いだけでなく可愛らしい一面も感じた。

オオタニ高校のせんせいたちをご紹介。 14 せんせいずかん

シンロブチョウ科ヒゲオトコ属
サウトフヒト

- ▶ 生息地
キャンプ場
- ▶ 趣味
写真撮影(写真部顧問)
ウサギグッズ集め
- ▶ 座右の銘
よく遊び、よく学べ



祝 全国高校総体・総文祭 出場
卓球・水泳・陸上競技・フェンシング・弁論
今年の夏も、熱き戦いを応援しましょう！

北海道ブックシェアリングからのお知らせ
毎週土曜日に厚別区で寄贈された本の整理のボランティア活動をしています。本の寄贈や活動の支援も随時受け付けます。詳しくは情報誌「ブックシェアリング」(図書室にあります)やブログ <http://ameblo.jp/booksharing/> をご覧ください。